



平成 29 年 10 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社 進学会 ホールディングス
代表者名 代表取締役会長 平井 睦雄
(コード番号 9760 東証第一部)

問合せ先 取締役執行役員社長 松田 啓
管 理 本 部 長
(電話 0 1 1 - 8 6 3 - 5 5 5 7)

株式会社城南進学研究社との資本業務提携に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 10 月 2 日開催の取締役会において、株式会社城南進学研究社と資本業務提携契約を締結することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 資本業務提携の理由

当社は、昭和47年に学習塾として札幌市にて創業し、昭和51年に前身となる株式会社進学会を設立、本年10月2日に会社分割により持株会社である株式会社進学会ホールディングスへと移行しました。創業より、「目標・計画・実行 継続は力なり」をスローガンに、現在では北海道から九州まで1道22県において直営の学習塾を展開しております。またスポーツ事業、賃貸事業および資金運用事業等を展開するグループ会社の持株会社です。学習塾においては、公立校入試傾向を徹底的に分析したオリジナルテキストにこだわり、講師の質を重視し、公立トップ校へ数多くの合格者を輩出しております。

株式会社城南進学研究社は、神奈川県川崎市に本社を置き、首都圏を中心に城南予備校を、また全国に個別指導塾「城南コベッツ」を直営並びにフランチャイズ展開する業界大手の学習塾です。近年は乳幼児教育「くぼたのうけん」や株式会社久ヶ原スイミングクラブのグループ化など多角的な事業経営を進めています。

学習塾業界では、少子化による学齢人口の減少を背景として価格競争が頻発し、企業間の競争が熾烈をきわめております。シナジー効果を高める業務提携や、M&Aも活発化しており、シェア確保や業界再編に向けた様々な動きが見られます。このような環境下において当社と株式会社城南進学研究社は協力関係の構築による新たな顧客の掘り起し、および授業の質を中心としたサービスと顧客満足度の向上について検討してまいりました。その結果双方の掲げる基本理念や指導理念には、相互に共通点が多いことから、長期的な資本業務提携に基づいた協働関係を築き上げ、新たな付加価値を生み出していくことで合意をいたしました。



2. 資本業務提携の内容等

(1) 資本提携

当社は、当該会社の普通株式を平成29年9月29日時点で383,200株（保有割合4.29%）市場より取得済みです。一方株式会社城南進学研究社は、取得価額150百万円を目安に平成30年3月31日までに当社の普通株式を市場にて取得する予定となります。

(2) 業務提携

下記の項目について協働による推進を進めて早期に成果を出すことをめざします。

① 個別指導部門における学習指導ノウハウの共有

当社はグループ会社として個別指導部門の株式会社プロGRESSを、城南進学研究社は個別指導塾「城南コベッツ」を展開しております。お互いのノウハウを共有することで、個別指導部門のさらなる指導力向上を目指します。

② 学習塾部門における受験指導ノウハウの共有

当社グループ内の学習塾部門株式会社進学会は、小中学生を中心に北海道から九州まで1道22県で指導を行っております。城南進学研究社は、高校生を対象に大学進学予備校「城南予備校」を首都圏にて展開しております。お互いの強みとするノウハウを共有することで、受験指導の強化を図り、学習塾業界における優位性を高めていきます。

③ 教育コンテンツに関するノウハウの共有

現在、当社グループと城南進学研究社はそれぞれでデジタル教材など学習コンテンツを開発しております。今後はその開発力を融合させることで、それぞれの強みを活かした、より高品質の学習コンテンツの開発を行うとともに、2020年教育制度改革にあわせた新たな学習コンテンツの調査・研究、開発に両社で取り組んでまいります。

④ スポーツ部門における募集ノウハウの共同研究

当社はグループ内のスポーツ部門としてスポーツクラブ Zip を札幌市内に、城南進学研究社はグループ内に株式会社久ヶ原スイミングクラブを東京都に展開しております。今後お互いのスポーツ部門の募集力強化に向け、その募集ノウハウを共同研究してまいります。

⑤ 新規事業開発の共同研究

当社グループと城南進学研究社のグループがそれぞれの持つ学習コンテンツとその開発力、指導ノウハウ等のリソースを活用し、両社の企業価値向上のための新規事業開発を共同で研究してまいります。



⑥ ICTを活用した教育の推進

現在、当社グループが作成したタブレット対応の学校向け教育用ソフト「Super Interactive School」は全国で約 3800 校に導入されております。2020 年に向け教育現場、学習塾業界において ICT の活用が強まるものと考えられます。今後、両社で ICT を活用した教育の推進にむけ、学習コンテンツの開発を進めてまいります。

⑦ 上記項目を推進するための人材交流

上記項目を具体的に推進できるよう、早期に業務提携委員会を発足し、人材交流を進めてまいります。

3. 株式会社 城南進学研究社の概要（平成29年3月31日現在）

(1) 名称	株式会社 城南進学研究社	
(2) 所在地	神奈川県川崎市川崎区駅前本町22-2	
(3) 代表者	代表取締役社長 CEO 下村 勝己	
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予備校及び個別指導を含めた進学教室の経営 ・ フランチャイズチェーンシステムによる予備校・進学教室の募集及び経営指導 その他 	
(5) 資本金	655百万円	
(6) 設立年月日	1982年 9月16日	
(7) 大株主及び持株比率	有限会社 シモムラ (30.10%) 下村 勝己 (12.94%) 自社（自己株口） (9.90%) 株式会社 進学会 (4.29%) 下村 友里 (4.24%) 山崎 杏里 (4.24%) 深堀 和子 (3.58%) 小川 由晃 (2.84%) みずほ銀行 (2.15%) (株)ジャパングリエイト (1.70%)	
(8) 当事会社間の関係		
	資 本 関 係	当社は、当該会社の普通株式を383,200株（保有割合4.29%）保有しております。
	人 的 関 係	当事者間には、記載すべき人的関係はありません。また当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には特筆すべき人的関係はありません。



取引関係	当事者間には、記載すべき取引関係はありません。また当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には特筆すべき取引関係はありません。
関連当事者への該当状況	当事者間には、関連当事者への該当状況はありません。また当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態

決算期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期
純資産	4,319百万	4,307百万	4,420百万
総資産	6,229百万	6,426百万	6,536百万
1株あたり純資産	534.20円	532.67円	546.53円
売上高	6,179百万	6,693百万	6,926百万
営業利益	317百万	323百万	335百万
経常利益	384百万	383百万	402百万
当期純利益	293百万	85百万	192百万
1株あたり当期純利益	36.50円	10.56円	23.93円
1株あたり配当金	10円	10円	10円

4. 日程

- (1) 取締役会決議 平成29年10月2日
- (2) 契約締結日 平成29年10月2日
- (3) 事業開始日 平成29年10月3日

5. 今後の見通し

今回の資本業務提携による今期の業績への影響につきましては、現段階では軽微でありませんが、今後業務提携の進捗度に応じて、業績予想に織り込んでまいります。

以上